

13歳未満のお子様をお持ちの保護者の方へ



～インフルエンザワクチンの小児に対する用法・用量が改定されています～

平成23年8月8日付けでワクチンの小児に係る用法・用量が下記のとおり改正されました。

ワクチン接種を希望される場合には、接種医にご相談ください。

【接種用法・用量の変更】

接種年齢	変更後			変更前		
	1回接種量 (mL)	接種 回数	2回接種 の間隔	1回接種量 (mL)	接種 回数	2回接種 の間隔
生後6か月未満	適応なし		—	0.1	2回	およそ 1～4週
6か月～1歳未満	0.25	2回	およそ 2～4週			
1～3歳未満						
3～6歳未満	0.5					
6～13歳未満						

* 2回接種の間隔は、免疫効果を考慮すると4週間おくことが望ましいです。

* 化学及血清療法研究所、阪大微生物病研究会、デンカ生研のワクチンは生後6か月以上、北里第一三共ワクチンは、生後1歳以上適応となっています。

○13歳以上の方は、これまでと変更なく、0.5mL、1回接種となっています。

なお、13歳以上の方でも、著しく免疫反応が抑制されている場合は、個別に医師と相談して、2回接種しても差し支えありません。

○ワクチンの予防効果が期待できるのは、接種した(小児の場合は2回接種した)2週間後から5か月程度と考えられています。